

## 【学会情報】

## 日本ブドウ・ワイン学会2021年甲府大会（オンライン）の開催報告

澤邊昭義<sup>1</sup>・渡辺(斉藤)史恵<sup>2</sup><sup>1</sup>近畿大学農学部, <sup>2</sup>山梨大学生命環境学部

日本ブドウ・ワイン学会2021年甲府大会が、2021年12月3日から4日まで、オンデマンド配信にて開催された。本年度で第36回目の大会実行委員長は奥田徹氏（山梨大学）が務めた。

本年度の大会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの状況でオンライン・オンデマンド配信での開催となった。本大会を無事開催でき、事務局の皆様の大なる努力に感謝するとともに、参加していただいた方々に感謝の意を表したい。

本大会は、全てをオンデマンド配信による口頭発表とし、一般講演および学会賞受賞講演を開催した。

一般講演（口頭発表）が27題ありました。昨年度大会と比べて、1.7倍増えたことになり、大会事務としても嬉しい事柄であった。また、学会賞受賞講演として、日本ブドウ・ワイン学会 技術賞受賞者講演が以下の演題でなされた。

## 日本ブドウ・ワイン学会 技術賞

「ワインの自然発酵におけるスケールアップ法応用の可能性」

乙黒美彩（山梨大学）・丸藤葡萄酒工業株式会社・岸本宗和（山梨大学）

「ブドウの新整枝・せん定法ハヤシースマートシステムの開発」

林 幹雄（株式会社林農園）・山下裕之（山梨大学）

本年度の技術賞受賞者講演では、インタビュー形式の講演がなされ、オンデマンド配信ならではの形式で新鮮さを感じた。

本大会もオンデマンド配信について、参加者から

「発表が何回も閲覧できる、質問できる時間が長いメリットはある」など好評であった。

本年度における大会の参加人数は以下に示したとおりで、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響でオンデマンド配信となり参加しやすかったこともあり、昨年とほぼ同様の参加人数で参加を戴き、大きな成果を取めたと確信する。

## 1. 参加者数

1-1. 大会	合計	275名
	内訳	
	一般会員	243名
	学生	30名
	名誉会員	2名

## 2. 大会発表賞の受賞者

大会発表賞

佐々木佳菜子（キリンホールディングス（株）飲料未来研究所）

「マスカット・ベリーA香味成分に対して陰干しブドウ製法が及ぼす影響」



大会発表賞 佐々木佳菜子氏（左）